

一般社団法人 日本健康心理学会  
第 34 回大会のご案内＜1 号通信＞

～アフターコロナ時代の健康心理学をめざして～

2021 年 11 月 15 日(月)～21 日(日) オンライン大会

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症のパンデミック宣言からすでに1年以上が経ちました。会員の皆様にも、公私ともにさまざまな感染症対策に迫られる1年間を過ごされたものと拝察いたします。

第34回学術集会は、2021年11月15日から11月21日の1週間、オンラインでの開催となりました。大会準備委員会としては、対面開催の実現をめざして準備を進めてまいりましたが、感染症の収束が見通せず、変異株の出現とワクチン接種の遅滞が懸念される状況で、参加者の皆さまの健康に配慮しながら対面開催を行うことは難しいとの判断に至りました。

第34回の大会テーマは、「アフターコロナ時代の健康心理学をめざして」です。1年前には、世界中の誰もが、これほどまでにパンデミックが長引くとは想像していなかったことと存じます。決定的な治療薬やワクチンが行き渡らない状況下で、人々は、感染症予防のための行動変容が求められ、教育場面や職場においては新しい生活様式が導入されることとなりました。本学術集会のオンライン開催も、昨年を引き続き2年目となりました。オンラインならではのメリットも多々あり、後ろ向きにとらえるのではなく、あらたな学術集会のありかたを考えるきっかけととらえたいと思います。

感染症対策としての人々の行動変容、感染への不安や流言などに対する心理的支援は、まさに健康心理学の重要な研究課題です。顧りみると、結核、HIV/AIDS、SARS、H1N1 インフルエンザ、感染症流行のたびに健康心理学研究が活発に行われてきました。健康心理学は、感染症への対応とともに発展してきたといっても過言ではないでしょう。新型コロナウイルス感染症流行下、やむなく開始されたリモートワークやオンライン授業も、生活にだいぶ浸透したように感じられます。このような新たな生活様式の影響についての心理学研究も今後進んでいくものと思われます。本学術集会在が、コロナ後を見据えた健康心理学研究を考える機会となれば幸いです。

今回、お越しいただくことができませんが、お茶の水女子大学の紹介を少しだけ。お茶の水女子大学は、東京駅から20分、地方からお越しの際にもアクセスしやすい場所に位置しています。文教地区の住宅地に囲まれた静かな落ち着いた環境です。大会が開催される11月下旬から12月初旬の東京は、いちやうが色づく季節となり、キャンパスも初冬の光と彩に囲まれます。機会がありましたら是非お越しください。

会員の皆様の学術活動の一層の発展を、心よりお祈りしております。

日本健康心理学会第34回大会準備委員会 委員長 大森美香

※次回の2022年度第35回大会より、経費節減のため、第1号通信は学会ホームページ上に掲載することとさせていただきます。発送はいたしません。掲載いたしましたら、その旨メールマガジン等でお知らせいたします。何卒ご理解のほど、お願い申し上げます。

**I 会期** 2021年(令和3年)11月15日(月)10:00～11月21日(日)17:00

## II 内容

### ＜学会および大会準備委員会による企画＞

#### 1. 会員集会

大会期間中に、会員集会（正会員と準会員のみ対象）を開催します。優秀な論文に贈られる「本明記念賞」の受賞者の発表および審査経過報告も、会員集会において行います。

#### 2. 基調講演 / 特別講演

内容が決定次第、実施形式を含め、大会 HP でお知らせします。

#### 3. シンポジウム

大会準備委員会企画シンポジウム、各種委員会およびヤングヘルスサイクロジストの会によるシンポジウムを計画しています。内容が決定次第、大会 HP でお知らせします。大会 HP において、オンデマンド形式で動画を配信します。

#### 4. 研修会

現在企画中です。内容が決定次第、大会 HP でお知らせします。大会 HP において、事前に申込のあった会員に対して、オンデマンド形式で動画を配信します。

#### 5. 本明記念賞受賞講演

本明記念賞受賞者による講演の動画を、大会 HP においてオンデマンド形式で配信します。

#### 6. 認定健康心理士総会ならびに健康心理学研修会

認定健康心理士の方のための企画です。内容が決定次第、実施形式を含め、大会 HP でお知らせします。

#### 7. 懇親会

今般の感染症の状況に鑑み、実施いたしません。

### ＜会員による発表＞

#### 1. 一般研究発表

日本健康心理学会正会員を筆頭発表者とするポスター発表形式のみです。「大会発表論文集（Web 公開）への論文掲載」と「大会 HP 上へのポスターの掲示」の2条件を満たすことが公式発表の要件となります。

なお、筆頭発表者が39歳以下の優れたポスター発表に対して、優秀発表賞を授与します。結果は後日、学会 HP において発表します。

#### 2. 会員企画シンポジウム

日本健康心理学会会員の自主企画によるシンポジウムです。大会 HP において、オンデマンド形式で動画を配信します。論文集原稿および申込者ご自身で作成した動画（90～120分）を事前に提出していただきます。

## III 一般研究発表・会員企画シンポジウムの申し込みについて

### 1. 発表者の資格

- (1) 一般研究発表の筆頭発表者、会員企画シンポジウムの企画者は、申込時に正会員であることが必要です。なお、筆頭発表者となるのは1人1回に限りです。
- (2) 連名発表者、会員企画シンポジウムのシンポジストは、正会員でなくてもかまいません。
- (3) 日本健康心理学会準会員は、筆頭発表者が正会員の発表において、大会準備委員会の承認を経ることなく連名発表者となることができます。
- (4) 日本健康心理学会学生会員(学部生)は、発表者になることはできません。
- (5) 現在は正会員でない方が筆頭発表者になることを希望される場合は、**7月31日(土)**までに、学会事務局へ正会員になるための申請をしてください。
- (6) 現在正会員であり、発表者になれる予定の方は、2021年度の年会費を大会期日までに学会へ納入済みであ

ることが必要です。

## 2. 申し込み方法

- (1) 大会 HP にて受付を行います。  
※受付はすべてインターネット経由とし、FAX や郵送等による受付は行いません。
- (2) 一般研究発表、会員企画シンポジウムは、8月31日(火)までにお申し込みください。

## 3. 発表論文集原稿(一般研究発表、会員企画シンポジウム)

- (1) 原稿は、別紙の「発表論文集原稿作成投稿要領」をご参照の上、作成してください。PDF 形式のみでの受付となります。なお、大会 HP からテンプレートファイルをダウンロードできますのでご活用ください。
- (2) 原稿受付は、大会 HP で行います。8月31日(火)までに提出してください。
- (3) ポスターおよび動画の受付は、大会 HP で行います。10月15日(金)までに提出してください。  
ポスターおよび動画の作成・提出方法は、7月下旬ころまでに大会 HP でお知らせします。

## IV 大会への事前参加申込および参加費について

本大会では事前の申し込みが必要です。大会 HP より、8月2日(月)から10月30日(土)までに大会参加の申し込み、および参加費の支払いをお願いいたします。支払方法については、大会 HP でご案内します。

大会参加費	正会員・準会員(大学院生含む)	4,000 円
	学生会員(学部生)	1,000 円
	非会員(大学院生含む)	5,000 円
	非会員(学部生)	1,000 円

※納入いただいた大会参加費は返金できかねますので、あらかじめご了承ください。

## V 申し込み・原稿等提出期限(一覧)

- ◇ 一般研究発表・会員企画シンポジウム申込および原稿受付 7月1日(木)～8月31日(火)
- ◇ 一般研究発表ポスター・会員企画シンポジウム動画受付 8月2日(月)～10月15日(金)
- ◇ 大会への事前参加・研修会申込、参加費支払い 8月2日(月)～10月30日(土)

**大会事務の効率化のため、期限の厳守をお願い申し上げます。**

## VI 今後の予定

大会プログラムの Web 上での公開は、10月中旬頃を、発表論文集の Web 上での公開は、11月上旬頃を予定しています。いずれも冊子体または CD での作成はいたしませんので、必要な方は、ダウンロードをお願いいたします。その他については、大会 HP および学会 HP において、随時お知らせいたします。

## VII 大会に関するお問い合わせ先

大会ヘルプデスクを設けています。ご不明な点がございましたら、どうぞお問い合わせください。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-10 ユニコム人形町ビル 4 階 (株)プロアクティブ内  
一般社団法人日本健康心理学会 本部事務局

日本健康心理学会第 34 回大会ヘルプデスク 係 E-mail: jahp@pac.ne.jp

※お問い合わせは可能な限りメールにてお願いいたします。

以上

# 日本健康心理学会 第34回大会 発表論文集 原稿作成投稿要領

## I 発表の形式と投稿方法

### 1. 一般研究発表 ・ 会員企画シンポジウム

#### 1) 投稿方法

大会HP上の発表登録システムにて、ファイルのアップロードによる投稿となります。投稿の手順は、大会HPにてご案内いたします。

#### 2) 投稿形式

投稿時のファイル形式はPDF形式のみでの受付となります。各自でPDFファイルを作成してください。

#### 3) 投稿期限

2021年8月31日(火)

## II 一般研究発表の原稿ファイル作成方法

### 1. 論文の構成

- 1) 原則として、目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たしてください。
- 2) 発表の際には利益相反の開示が義務づけられています。利益相反とは、研究によって社会に還元される公的な利益、および産学連携等によって生じる私的利益、これら二つの利益が研究者個人の中に生じる状態を指します。利益相反の状態自体は問題ありませんが、研究を支障なく進めるために情報開示を行う必要があります。利益相反関係にある企業の有無および有の場合は企業名を明記するようお願い致します(例1. 利益相反開示:発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません/例 2. 利益相反開示:発表に関連し、〇〇製薬会社と利益相反関係にあります)。
- 3) 所属する組織および研究が行われる組織の倫理委員会等による承認、データの開示と保管において個人情報の保護に適切な配慮がなされているか、研究を進める上で研究協力者の同意が得られているか、個人を特定できないよう十分にプライバシーが守られているか等の倫理的配慮についても記載をお願いします。

### 2. 用紙と作成方法

- 1) 原稿は、A4判用紙1枚にまとめて作成してください。
- 2) 作成にあたっては、ご自身の責任で個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 3) 大会HPに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

### 3. 書式・レイアウト (p.6 図1参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm, 左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 1行目にタイトル, 2行目に発表者氏名・所属, 3行目にキーワード(3語~5語)を書いてください。
- 4) 発表者が複数名の場合は、責任発表者の氏名の前に○印をつけてください。この部分が全体の1/5程度に収まるようでしたら、行数が増減しても構いません。
- 5) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 6) 本文の最後の行に、発表者全員の氏名をローマ字で記入してください(例. KENSHIN Taro)。

- 7) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、キーワードと本文は9ポイントを基本とします。
- 8) フォントは本文のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、氏名・所属、キーワード、中央大見出しの目的・方法・結果・考察については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 9) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

### Ⅲ シンポジウム の原稿作成要領

#### 1. 用紙と作成方法 (p.7 図2, 3参照)

- 1) 原稿はA4判用紙2枚にまとめて作成してください。
- 2) 企画者は、シンポジウムの趣旨、および各話題提供者の発表内容について記載してください。
- 3) 話題提供者の発表内容ごとに、氏名、発表タイトル、発表内容を載せてください。
- 4) 作成にあたっては、ご自身の責任において個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 5) 大会HPに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

#### 2. 書式・レイアウト (p.7 図2, 3参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm、左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 4) 1枚目の1行目にシンポジウム名、2行目以降に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の氏名・所属を載せてください。
- 5) 本文の最後の行に、シンポジスト全員の氏名をローマ字で記入してください  
(例. KENSHIN Taro)。
- 6) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、本文は9ポイントを基本とします。
- 7) フォントは企画趣旨と話題提供の内容のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、企画者・司会者・話題提供者・指定討論者の氏名および所属、横大見出しの企画趣旨、話題提供者・氏名については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 8) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

図1. 発表論文集原稿の基本形式

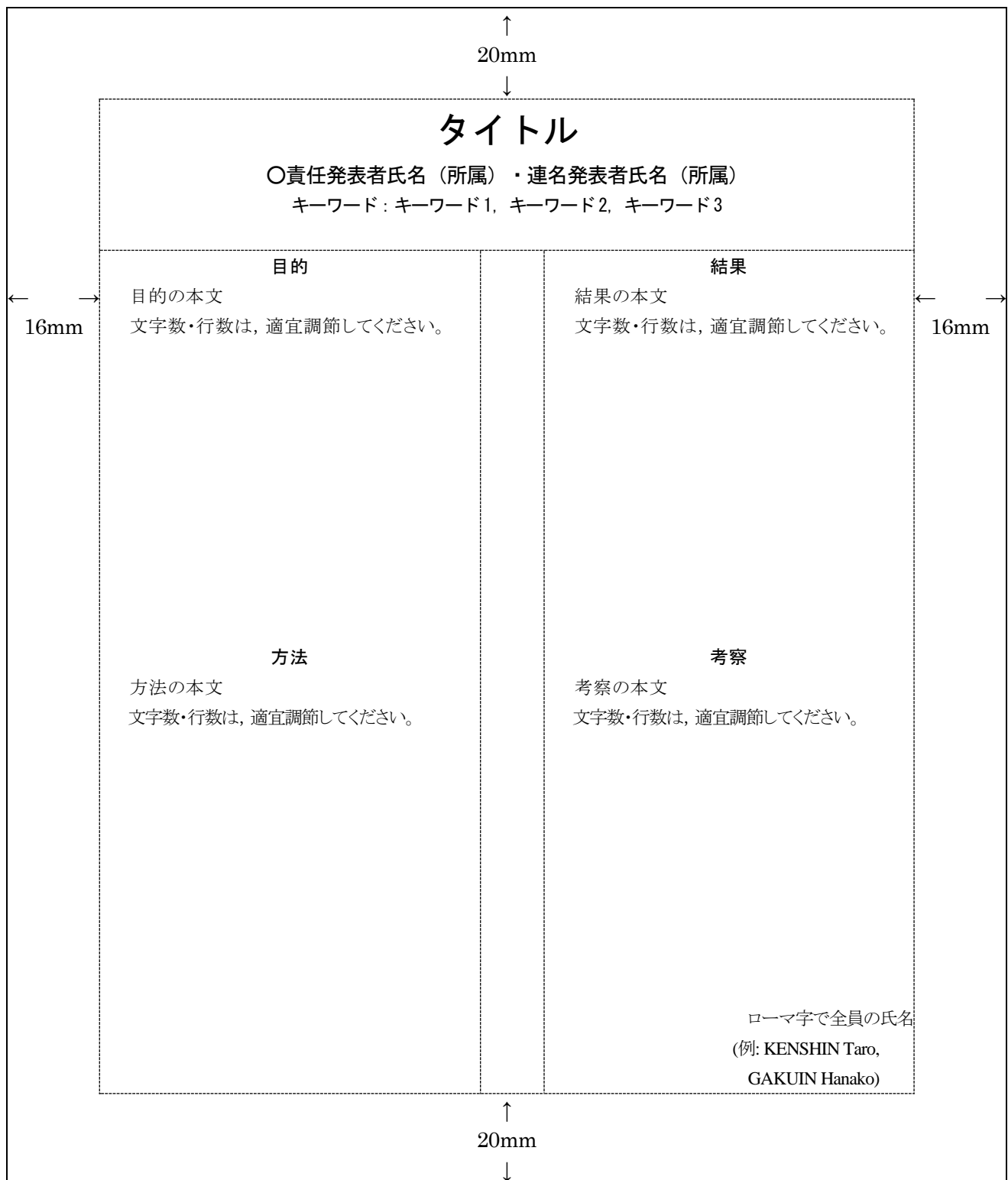


図 2. シンポジウムの基本形式(1 枚目)

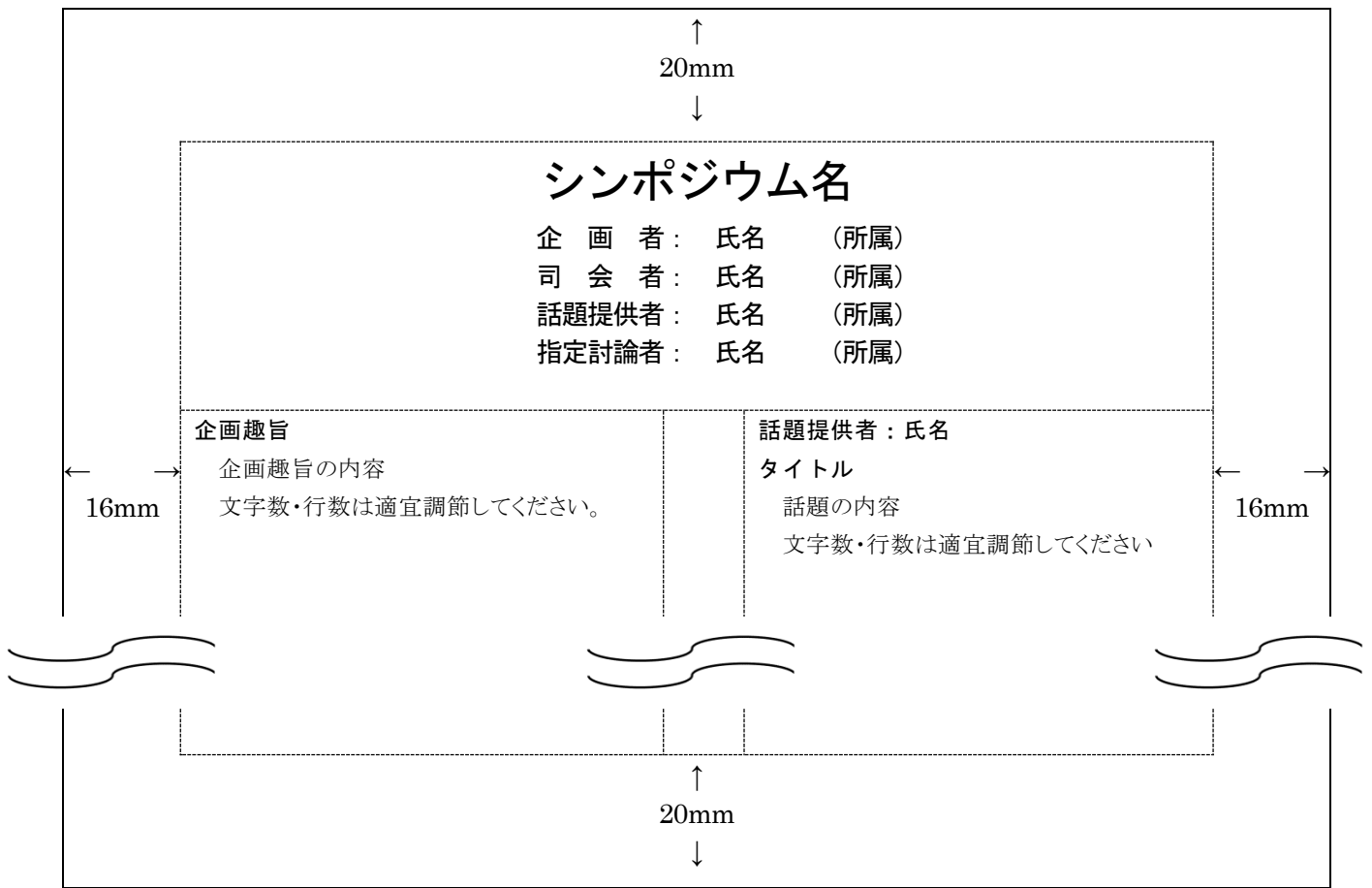


図 3. シンポジウムの基本形式(2 枚目)

